

新得町立富村牛小中学校

(新得町字屈足富村牛257番地)



建物概要	使用場所・木材・面積		
建物区分：校舎 構造規模：木造（一部S造） 平屋建て 延床面積：1,344.501㎡ 建築年度：平成20年度	床	・CR、ランチルーム、玄関～フローリングフロク ・昇降口、ホール、多目的室、廊下～フローリングボード	164㎡ 146㎡
	内壁等	・風除室～トマツ羽目板 ・風除室、昇降口、ホール、廊下～レッドパイン羽目板 ・昇降口、ホール、CR、多目的室、玄関、トイレ、廊下～シパニヤ	93.7㎡ 224㎡
		その他	・柱、梁～構造用単板積層材（カマツ）使用

特色

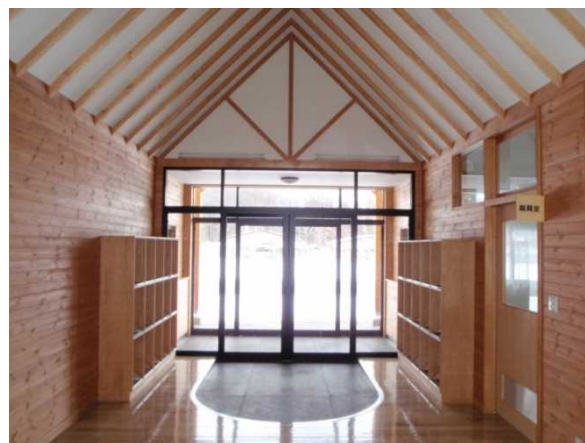
富村牛小中学校は、新得市街から約40km離れた場所に設置された豊かな大自然に囲まれたへき地5級の小中併置校です。敷地は大雪山国立公園内の普通地域内にあり、又豪雪地帯にあり、学校に隣接して町立保育所も設置されており、トムラウシ地域の中核を担う場所です。

旧校舎は昭和23年と30年、39年に建設、増改築された木造の校舎で耐震診断において、危険校舎に該当したことを機に、校舎を改築しました。

小中併置校であることや、国立公園内であることから、小中の連携に配慮した配置、自然環境、景観に配慮し、木の温かみを感じられるデザインの校舎となっています。



校舎外観



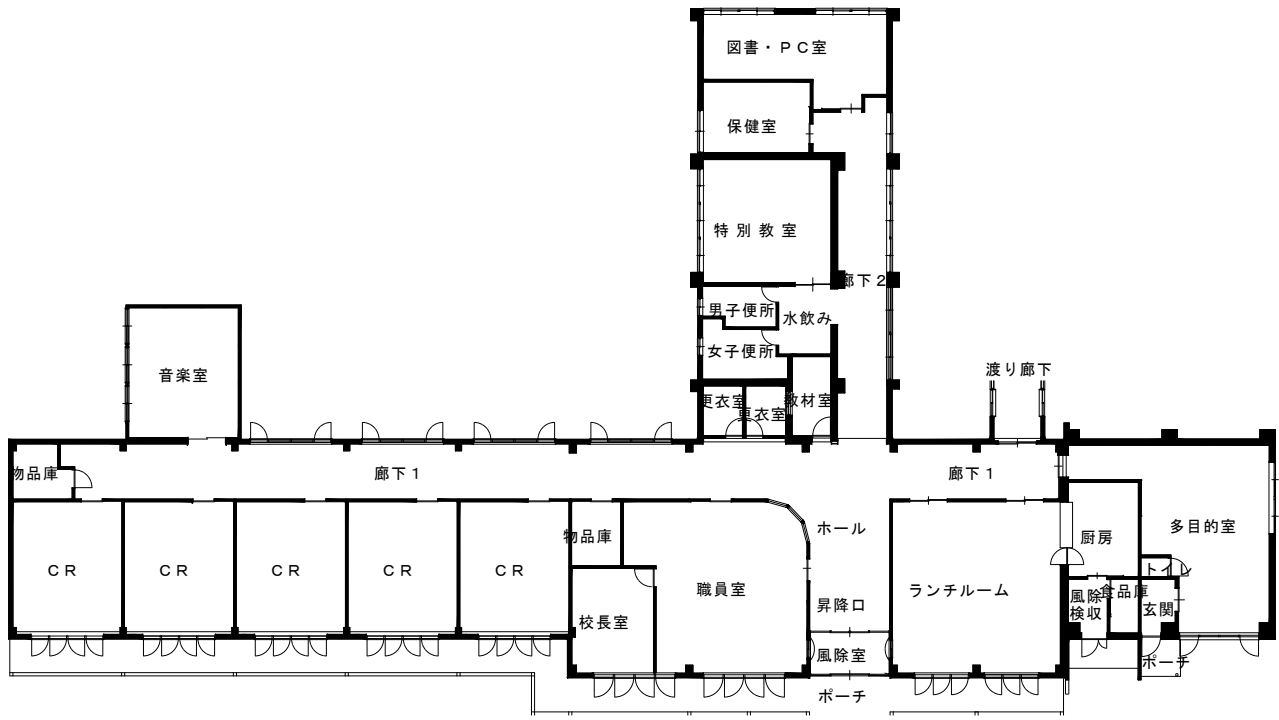
児童玄関



廊下



ランチルーム



平面図